

玉出中だより

平成29年4月14日
大阪市立玉出中学校
4月増刊号 No.2

平成29年度の始業式から1週間がたちました。どの学年の子どもたちも、新しい学年に前向きに、意欲的に取り組もうとする思いが、しっかりと伝わってきています。今の気持ち（初心）を大切に、学習や学級活動、部活動に充実した時間を過ごすことで、さらに充実した未来が、それぞれの夢が現実として見えてくると思います。

校長先生の「座右の銘」の一つを紹介します。

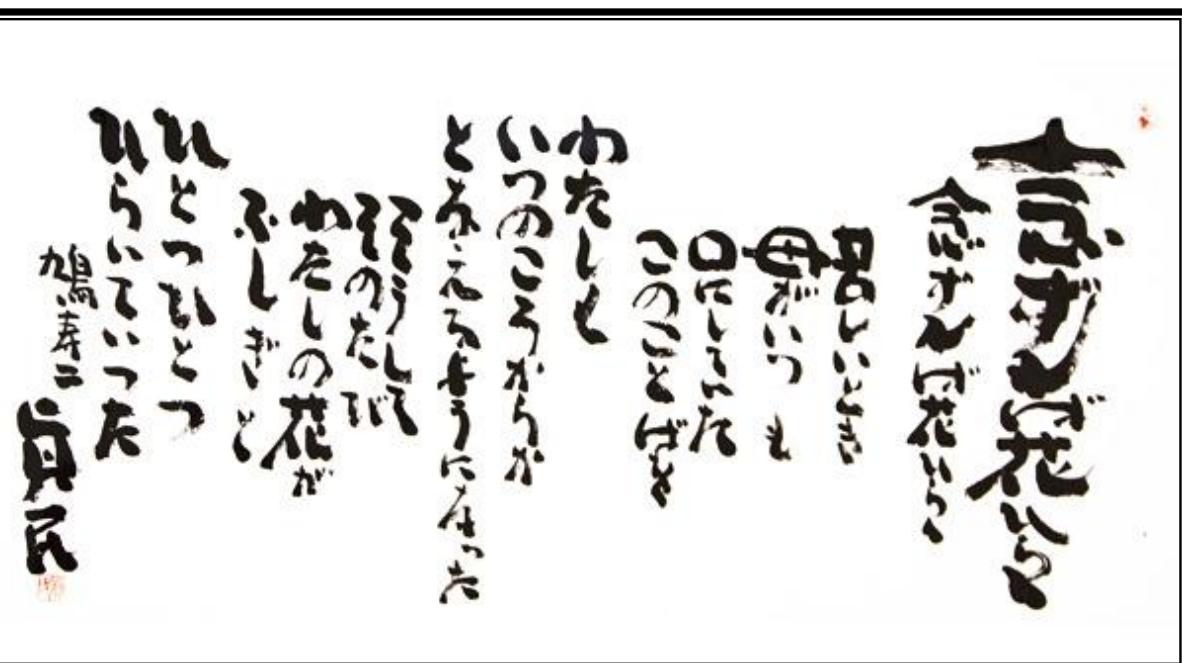
為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり

江戸時代後期、米沢藩（山形県）藩主の上杉鷹山が家臣に教訓として詠み与えた歌です。「できそうもないことでも、その気になってやり通せばできるものである。できないのは、その人がやろうとしないからである。」

『成る』は出来るという意味、『為す』とは行動するという意味です。

どんなことに対しても、強い意志を持って立ち向かっていけば必ず成就するという、やる気の大切さを説いた言葉です。中学校生活を創っていくのは自分自身です。毎日をどのように過ごすかによって、自分の人生そのものが変わってきます。自分の未来のために、決してあきらめることなく、何事にも全力でチャレンジし、夢や目標に向かって努力してください。

また、自分の夢や目標がわからない人、そんな人こそ、何にでも全力でチャレンジし、自分の可能性を広げてください。全力で頑張っていたら、自分のやりたいこと、自分にしかできないことがわかつてくると思います。



詩人・坂村真民さんの有名な詩「念ずれば花ひらく」です。「努力は報われる」

玉中生見守りネットワーク

本校では、落ち着いた学習環境の整備と生徒の健全育成を目的に、学校・地域・関係諸機関が一体となった「玉中生見守りネットワーク」を組織しています。

4月13日（木）午後4時より、今年度第1回目の会議を開催しました。大阪市教育委員会、西成警察署少年係、難波少年サポートセンター、玉出中学校の子どもたちの健全育成にかかわる地域の方々が一堂に会し、学校や地域の様子、子どもたちの活動への支援などについて、考える場となりました。

「玉中生見守りネットワーク」では、生徒への様々な支援、登下校の指導、校内外の巡視、非行防止教室の開催、給食見守り活動、サポーター・保護者対象の学習会等に取り組んできました。今年度も引き続き、子どもたちのために、学校・保護者・地域・関係諸機関が一体となった取り組みを進めていきますので、保護者の皆様のご支援、ご理解をよろしくお願ひいたします。

生活指導講話（西成警察署生活安全課少年係）

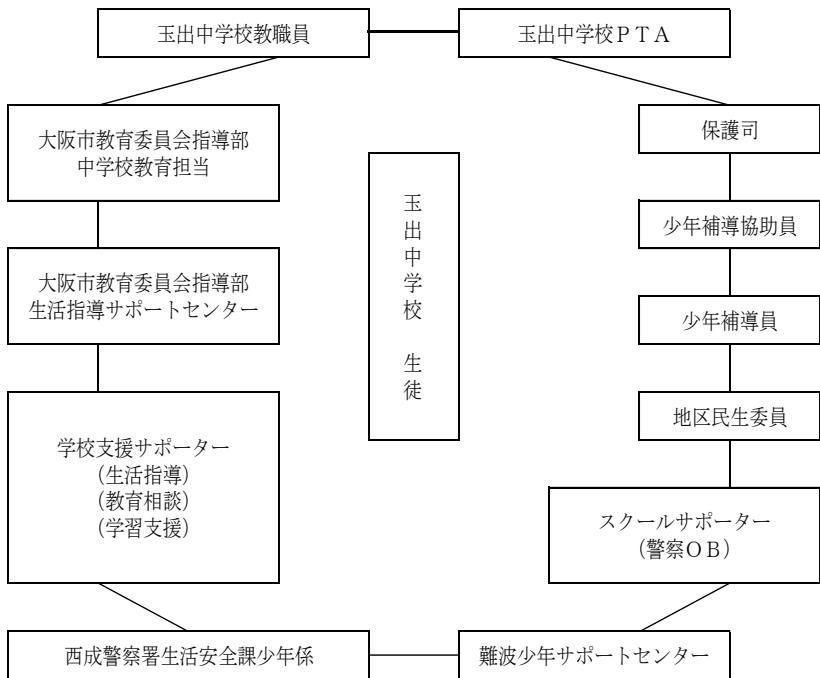
4月17日（月）の全校集会において、西成警察署生活安全課少年係・太田係長を講師に招き、生活指導講話をています。中学生を取り巻く様々な問題などについてお話を聞いていただきます。学校でも、地域でも、安全・安心な生活を過ごしていくよう、しっかりと話を聴いてください。全校集会に遅れないよう、また、1日の学校生活がスムーズにスタートできるよう、8時20分には登校しましょう。

玉中SP（Special Place）

玉出中学校では、学校に来づらい生徒、教室でみんなと一緒に勉強しづらい生徒が学校で学習できる場として『玉中SP』を開設しています。学校支援員の中尾さんを中心に取り組んでいますので、利用してみたいと思う人は、中尾さんや根岸さん、小西さん、教頭先生に声を掛けてください。保護者のみなさんからの教育相談も受け付けています。

（次号で「ゆるりん」「学習支援室」を紹介します）

1. 構成図



日 時：毎日
場 所：東館1階 多目的室
相談員：中尾さん・根岸さん・小寺さん 他
(曜日により担当者が変わります)

中尾さん

人と人とのコミュニケーションスペース
「結空間」代表

不登校、発達障害、非行・問題行動、いじめなどに関し、生徒や保護者の方々からの相談を受けます。